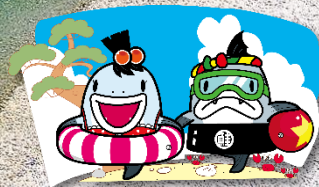




# ギョモンくん みやこのちの GEO 発見新聞



第19号  
2019年7月号

## 【夏休み企画】 ジオパークって どんなところ？

今年4月、久慈市で発見された化石がティラノサウルス類の歯だとわかり、ニュースになりました。見つけたのは宮古市の高校生でした。  
昔、日本列島には恐竜はいなかったと考えられていましたが、1978年に岩泉町の海岸近くの地層「宮古層群」で、日本で初めて恐竜の化石が発見されました。



宮古市田老地区にある三王岩。宮古層群のようすをよく観察できます。

宮古層群は、宮古市鍛ヶ崎の辺りから田野畑村に見られるおよそ一億年前の地層で、アンモナイトなどの化石がたくさん見つかっています。

恐竜時代の後、宮古の周辺ではマグマの活動が活発になり、浄土ヶ浜のもとになる岩ができました。長い年月をかけて波と風で削られ、現在の美しい形になりました。



浄土ヶ浜の白い岩はマグマが冷えてかたまったもの。美しい浜は宮古で一番の人気スポットです。

やがて人類が誕生し、狩りや漁をするようになります。三陸の豊かな海でとれる魚や貝は、崎山に暮らしていた縄文人たちも大好きでした。



崎山貝塚縄文の森公園や、公園のミュージアムでは、3500～6000年前の縄文時代のくらしが学べます。

しかし、時に海は人間に襲いかかります。三陸では過去に何度も大きな津波が発生しています。わたしたちは災害から学び、備えていかなければなりません。



4階まで津波に襲われた「たろう観光ホテル」を見学する小学生。

## 人と自然と大地の つながりがわかる！

このように、わたしたちの住む地域には、地球の歴史や、大地と生き物のつながりを知ることが出来る場所がたくさんあります。

GEO(地球)PARK(公園)とは、人と自然と大地の結びつきが楽しく学べるところを表す言葉です。宮古や岩泉、釜石などの三陸地域は、地球の成り立ちや津波の被害が学べる貴重な場所として、「三陸ジオパーク」になっています。



大きい!

It's a great VR!



4月25日のダイヤモンド・プリンセスをはじめ、今年も宮古にたくさんの船がやって来ました。外国からのお客さまにもジオにふれてもらいました。

ジオパーク活動って  
どんなこと  
するのかな?



# ジオパーク活動報告

2019年4月~7月

浄土ヶ浜では4月と7月に清掃活動を行い、浄土ヶ浜ビジターセンターの事務局員から浄土ヶ浜の成り立ちをお話しいただきました。



次回イベントのご案内



田老では、講師の柳澤忠昭先生に三王岩の成り立ちをお話しいただきました。

宮古市三陸ジオパーク推進協議会では、宮古に来てくれたお客さまにジオパークを知ってもらうため、クルーズ船の歓迎会場の藤原ふ頭で、写真展やVR体験を行いました。

また、ジオサイト(ジオパークの見どころ)を市民みんなで清掃する活動も行い、終わったあとにはジオサイトの解説会を開きました。

## 浄土ヶ浜ナイトウォーク

8月3日(土) 午後7時30分~

静寂に包まれた 夜の浄土ヶ浜をあるいてみませんか?

- ★集合：浄土ヶ浜ビジターセンター
- ★参加料：無料
- ★コース：浄土ヶ浜ビジターセンター～浄土ヶ浜（遊歩道・往復）
- ★所要時間：約1時間 ※雨天中止
- ★定員：先着30人  
※中学生以下は保護者同伴
- ★持ち物：動きやすい服装、飲み物、タオル、虫よけなど
- ★申込期限：8月1日(木)
- ★申込先：  
宮古市三陸ジオパーク推進協議会  
Tel 0193-68-9091（宮古市観光課）

宮古市のジオサイト紹介パンフ



[www.facebook.com/Miyako.Geopark](https://www.facebook.com/Miyako.Geopark)

Facebook



[www.twitter.com/Miyako\\_Geopark](https://www.twitter.com/Miyako_Geopark)

twitter



GEO発見新聞バックナンバー

